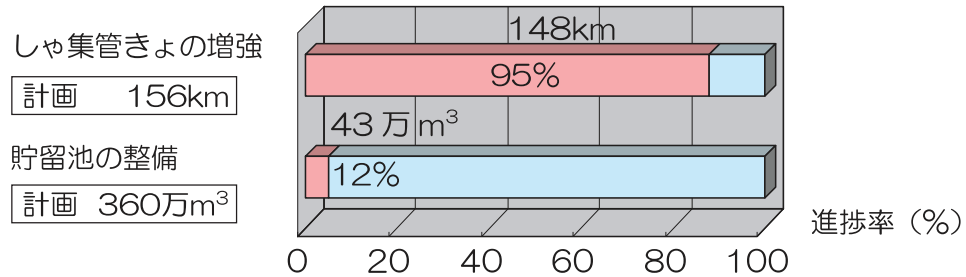


(2) 従来からの合流改善対策の課題

従来からの合流改善対策は、総汚濁負荷量を分流式下水道と同程度まで削減して河川や海の水質を改善することを目標に、しゃ集管きよの増強と貯留池の整備を進めている。平成15年度までの進捗率は以下のとおりとなっている。

図2-6 しゃ集管きよの増強と貯留池の整備進捗率(平成15年度末)



- 従来からの合流改善対策は、しゃ集管きよの増強や貯留池の整備など、大規模な施設整備が中心であるため、効果の発現までに長い年月と多大な費用が必要
- 都心部のポンプ所や水再生センターにおいて、貯留池の整備に必要な広い用地の確保が困難
- 水質改善を目的とするしゃ集管きよの増強と貯留池の整備に加えて、新たな課題である雨水吐口からのオイルボールやごみの流出抑制対策が必要

(3) オイルボール(※)やごみの流出状況

- 雨天時に河川や海に流出したオイルボールが漂流し、水辺に漂着
- 河川では、降雨の後に河床にごみが付着し、水辺の景観が悪化

写真2-3 お台場海浜公園に漂着したオイルボール



写真2-4 降雨後の河床のごみの付着状況



※ オイルボール：家庭や飲食店の食用油やラードなどの油脂が下水道に流れ込み、管きよ内で固まった白色の固形物。形状はボール状とは限らず不定形。

(4) 合流改善クイックプランの策定経緯

- 雨天時の水質改善を目的とするしゃ集管きよの増強と貯留池の整備に加えて、新たな課題である雨水吐口からのオイルボールやごみの流出抑制対策が必要



- 従来の合流改善対策に加え、オイルボールやごみなどの流出抑制、雨の日の放流水質への対応などの新たな課題に対応することを目的に、合流改善クイックプランを策定
- クイックプランでは、お客さまなどからの水質改善要望に応える対策や地区を重点化して短期的に行なう対策を実施

図2-7 これまでの合流改善クイックプランの取組み

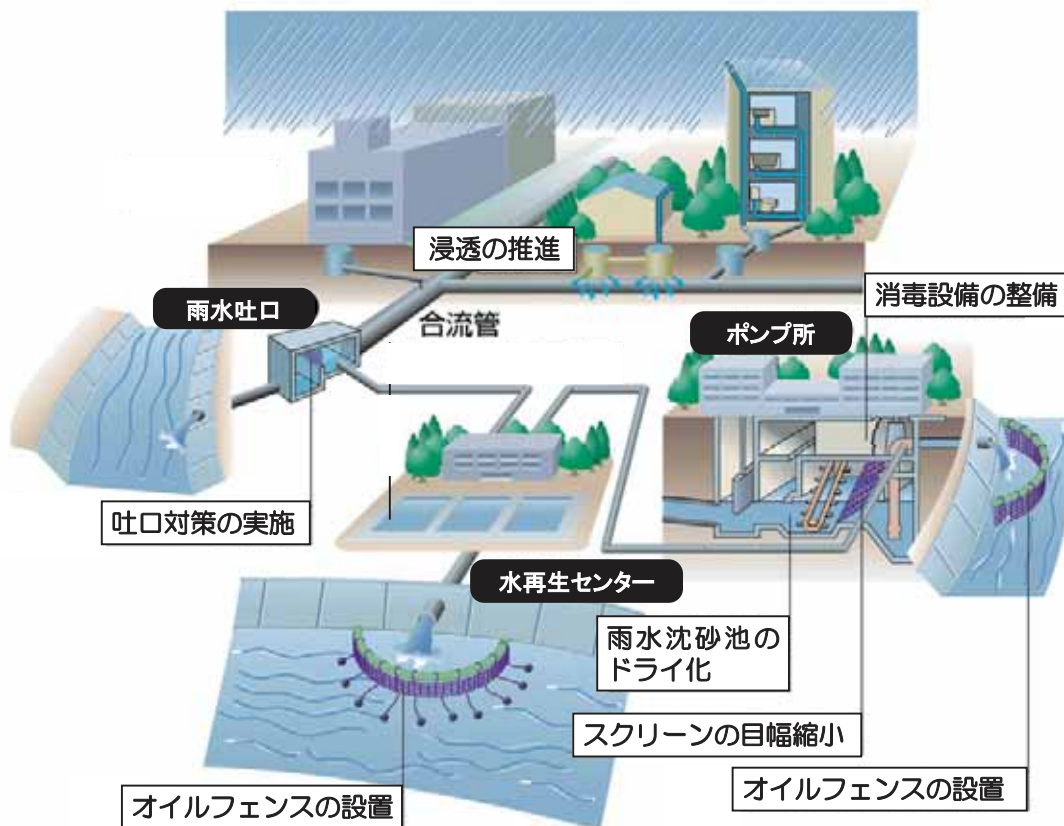
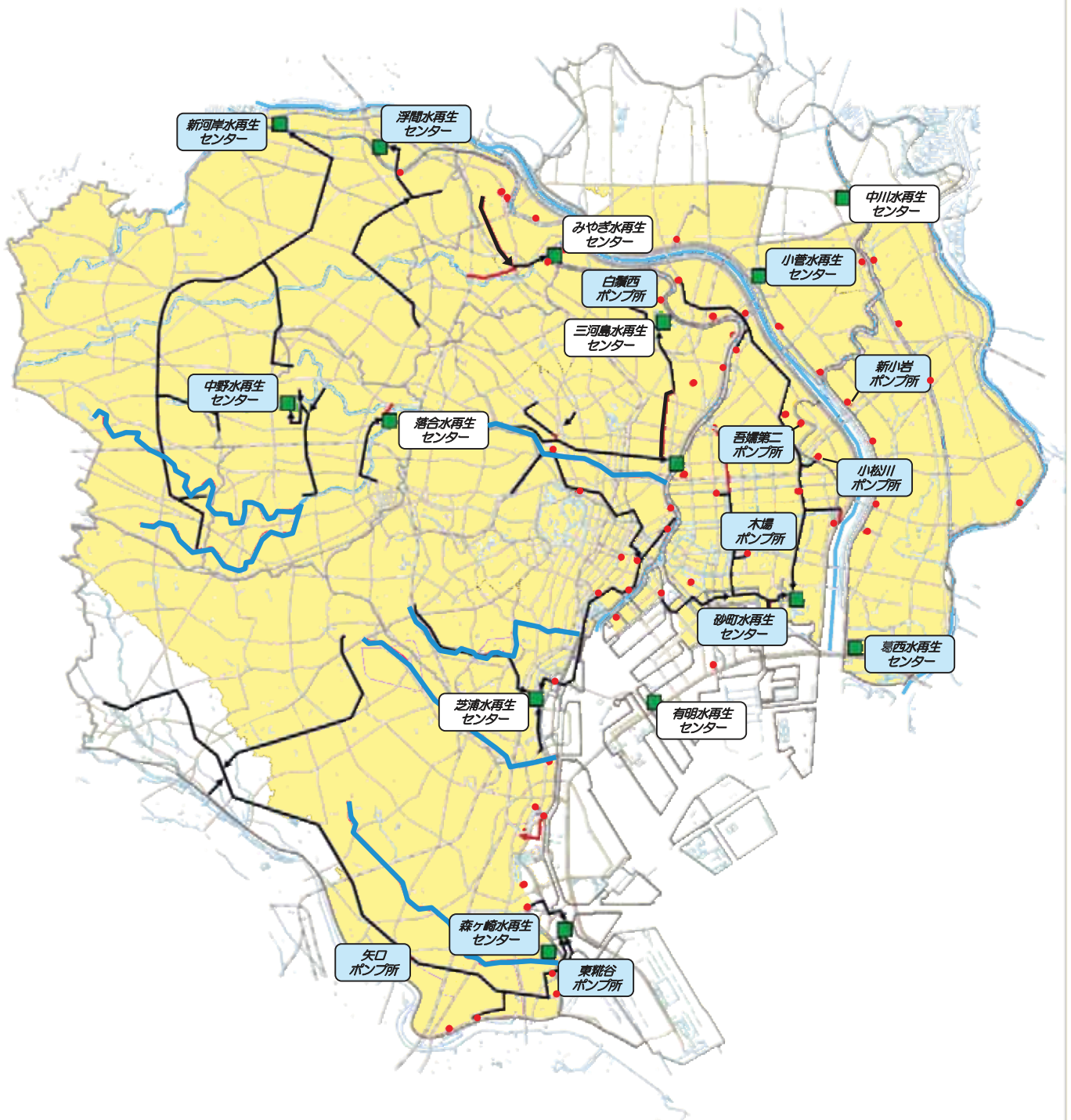


図 2-8 合流改善計画区域と中長期的対策
 (しゅ集管きよの増強と貯留池の整備状況)



凡 例	
■	水再生センター
●	ポンプ所 (整備予定含む)
— (黒)	しゅ集管きよの増強 (整備済み)
— (赤)	しゅ集管きよの増強 (整備予定)
■ (黄)	合流区域
●● (ポンプ所)	貯留池整備済み (一部稼働含む)

※ 貯留池未整備のポンプ所は名称表示を省略